

平成29年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目

教授

高野 光男

	取組状況
教育	<p>本科では、担当する授業がないなか、カリキュラム改訂の年次進行に併せて、授業内容・方法を見直し、AL(Active learning)を取り入れるなど、授業改善計画を進めた。また、rubric評価を積極的に取り入れ、評価についての学生の信頼や学力の向上を図るための準備を進めているところである。</p> <p>専攻科では、「履修計画書」自体を教材・授業内容に設定したことで学生の能動的な参加を実現し、相互評価という授業形態により、学生の文章力、議論する力を向上させることができたと考えている。</p> <p>キャリア活動における志望理由書などの文章に関しては授業時間以外でも学生の質問や添削に丁寧に対応した。</p>
研究	<p>(研究論文等)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.【共著】『精選現代文B改訂版』(三省堂,2018.3.30)※検定教科書</li> <li>2.【共著】『高等学校現代文B改訂版』(三省堂,2018.3.30)※検定教科書</li> <li>3.【共著】『入試漢字の総練習改訂版』(三省堂,2017.11.20)</li> <li>4.【単・教材研究】             <ol style="list-style-type: none"> <li>①ヤマザキマリ「地球上の「旅人」」(『精選現代文B改訂版 指導資料①』三省堂,2018.3.30 pp28～59)</li> <li>②各教材のアクティブラーニングの計画と観点 「最初のペンギン」(『精選現代文B改訂版 指導資料①』三省堂,2018.3.30 pp65～67)ほか、「月火水木金土日」「未来世代への責任」「恐怖とは何か」「メディアと歴史」「木の葉と光」「コンクリートの時代」「蠅」「レキシントンの幽霊」について行った。(掲載書・ページ等の情報は略)</li> </ol> </li> </ol> <p>(学会発表)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.「村上春樹「アイロンのある風景」と格闘するー「都市文学論」(3年選択)の授業からー」(第69回日本文学協会国語教育部会夏期研究集会,法政二高校,2017.8.12)</li> <li>2.「澤地久枝『14歳(フォーティーン)満洲開拓村からの帰還』を読むーあまんきみこの「満洲」を考えるための寄り道としてー」(第5回あまんきみこ研究会,國學院大學たまプラーザキャンパス,2018.3.11)</li> </ol>
社会貢献	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.平成29年度オープンカレッジ(公開講座)「中学生のための小論文講座」のコーディネータを務め、4日間、計12時間の講座で用いる教材についてコーディネートした。この講座は、小論文を書くための基礎的事項を学びながら、実際に高校入試で出題された小論文問題を用い、「文章提示型小論文」「図表提示型小論文」「テーマ提示型小論文」の3つの形式について学習する。受講生が書いた小論文は、講師が個別添削指導をしたうえで返却するというものである。</li> <li>2.日本文学協会の委員、あまんきみこ研究会事務局長等、学会・研究会の運営にかかわった。</li> </ol>